

あすけ通信とは？

あすけ通信とは、足助に若者が住み続けて欲しいという想いを持った足助在住の有志6名による地域情報誌です。足助に今住んでいる若者も、住んでいない若者も、足助で生まれ育った若者であれば全員が、足助というふるさととずっとつながりを持ち続けてほしいと考え、発刊に至りました。

あすけ通信は、以下の願いをもって、編集しています。

足助出身の若者に読んでほしい

あすけ通信は、足助で生まれ育った若者と足助をつなぐ情報誌でありたいと考えています。この情報誌を手にとったなら、一度、読んでみてください。

足助の良さを伝えたい

足助に住んでいると気づかない、足助から離れてみて気づくものがあると思います。私たちは、そうしたものに気づききっかけになりたいと考えています。私たちが気づかない足助の良さを知っているあなたは、是非、私たちにおしえてください。

「ふるさと」に立ち寄ってほしい

あすけ通信は、足助を「ふるさと」と思う人にお祭りやお正月などの情報をお知らせし、気軽に立ち寄るきっかけを作りたいと考えています。

あすけ通信

足助とつながる情報誌

2012

創刊号

あすっこ紹介

3代目加東家当主 加藤泰幸さん

「足助のバイタリティーが好き。」高校卒業後、東京の製菓専門学校へ進学、そのまま東京の製菓店へ就職した。両方やりたくて和菓子を4年、洋菓子を1年、専門に取り組んだ。

25歳の時「そろそろ帰ろうかな。」あまり外が長くなると戻ってとけ込みにくいとの考えからだった。市町村合併のまさにその日、足助に帰ってきた。

足助に戻ってきて奥様と恋に落ち、めでたく結婚。足助小学校1年生と5年生の時にすでに出会っていたことを互いに知らなかった。先輩諸氏が口をそろえて「足助は子育てにいい町だ。」と言っていたのを聞き続けて、この4月にパパとなった。

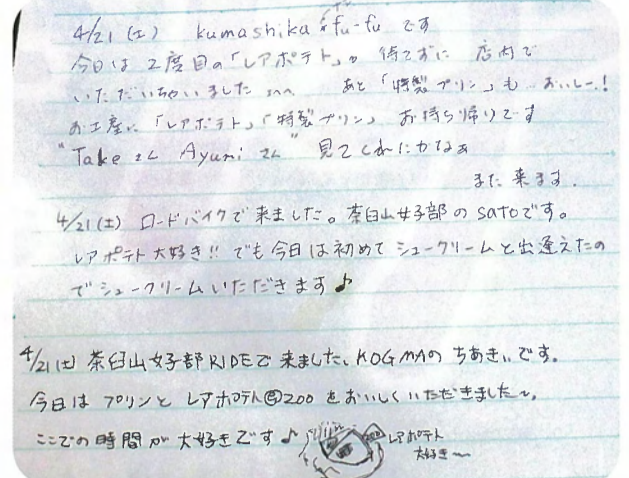
大ヒット商品となったレアポテトは、たまたま通りかかったロードバイクのライダーがおいしさに感激、自身のブログで紹介してくれたことでブレイクした。以来加東家はロードバイクを操る人たちの足助の関所となった。店内に置かれたノートには焼きメッセージがしたためられている。晴れた日加東家の前にあふれるバイクも足助の町並みのひとつの風景となった。

「あのレアポテト、あんたの働いてた店のだよねえ。あれ食べたい。」実は4年前、茶の間でくつろいでいた時たまたまTV放映されたレアポテトを見た姉のなげないつぶやきが、いつか手がけようと秘めていた思いに火をつけた。作りやすさ、焼き加減、仕上がりの試行錯誤の末、加東家のレアポテトは誕生した。

「温泉街イコール饅頭。アイデアの宝庫。射的があるような温泉街が好き。」最近では道後温泉まで足を延ばした。城崎温泉に出かけた時には地元の盆踊りの輪に飛び込んだ。そんな時にひらめく。年に一度は遠出することになっている。業務多忙で動きがとれない時も地図を広げて温泉へ旅行した気分をひたす。

「いつか和菓子も定番商品になるものを作りたい。」さわやかな野心を応援せずにはられない。

3代目加東家当主 通称やっぺ 現在32歳
かとう・やすゆき 1980年生 足助自治区在住



宮町に念願の消防団新詰所完成



4月29日、豊田市消防団第7方面隊第2分団の詰所が宮町に新たに設置された。竣工式の冒頭、第2分団の分団長の大山さんからあいさつがあった。「念願の詰所が出来たのは地域の方々のおかげ、一層頑張りたい。重伝建の町並みに調和した素晴らしい詰所で、本当に嬉しい。このような詰所が出来たからには、先人から受け継いできた町並みを守っていく。今、消防団は年齢層が高く、後継者の確保が困難。定年でも終わらず、次を育てるなど退団しても何らかの貢献をして関わってきたい」とのこと。反面で「これまでの西町詰所にはポンプ送法の練習や夜警などの思い出が染み付いており、そこから離れることは寂しい」とやや複雑な気持ちも。

竣工式は厳かな雰囲気で行われた。しかし、その後の記念撮影と懇親会では一転して賑やかな雰囲気に。若者達らしい一面が見えた。

大山分団長に、第2分団の団員達について尋ねた。

「本当にみんな、素晴らしい奴ら。みんなお祭り野郎なのが特徴。この辺りが、他の都市部の消防団にはない足助ならではの団結力の源なんだと思う。彼らのような若者がいる限り、消防のことだけでなく、足助はもっともっと良くなれる。若いやつらの活躍を、もっともっと色々な人に知ってほしい。」

則定であすけウォーク開催

5月6日(日)、則定地区であすけウォークが開催されました。あいにくの曇り空でしたが、東大島グラウンドを発着点とした10kmコースに足助地区内外から167名の参加者がありました。椎城跡、恩真寺、浄心寺、則定集会所、心月院をチェックポイントとし、健康づくりをしながら名所を巡ることができました。また、則定集会所では豚汁がふるまわれました。



足助小学生稚鮎放流体験

足助小学校児童30人によるアユ放流体験の様子です。町中を流れる足助川に約800尾の稚アユ10~15cmを巴川漁協と愛知県水産試験場の協力で放流体験が行なわれました。開始直後は「わたしちゃんとできるかな〜」と心配そうな子もいましたが、みんな上手に放流することが出来、大喜びでした。

放流後川原でアユの生態や環境についての説明が行われ子供達は熱心に水産試験場職員に鮎がどうやって川へ上ってくるのか、他の魚から食べられてしまうことがあるのか…など、興味津々に質問していました。

巴川漁協の役員が「みんな楽しかった?」と聞くと大きな声で「楽しかった!」と手を挙げていました。

最後に河川環境や水産資源に興味を持ってくれるためにもこれからも続けて行きたいと巴川漁協の水野清組合長が締めくくりました。



ふるさと足助への思い

矢作新報6月1日号に豊田市最年少の地域会議委員河合友理さんの記事が掲載されました。地域会議については下記本文をご覧ください。↓

ひと

百話 その九十

最年少の地域会議委員 わくわく事業を初審査

地域の課題に取り組み、自信と誇りが持てる地域づくりを目指す地域会議。豊田市内27カ所にある中で、最年少で委員を務めているのが足助地区地域会議の河合友理さん(28・白鳥町)だ。河合さんが地域会議委員の存在を知ったのは、委員によって若者の意見を聞く場が設けられたとき。その後、足助支所の職員に声を掛けられて今年度から委員を務めることになった。

当初は「私なんかでいいのか」と思ったものの、これも何かの縁だと思いき、有り難く引き受けたいという事で断然の意思を求めた。他の委員より若められることもあるが、年長者



足助地域会議委員 河合友理さん

の方がアンテナが高く、経験も豊富なので、年齢は関係ないのではないかと思うそうだ。河合さんは高校時代から紙漉に興味があり、愛知教育大学の生涯教育課程で4年間工芸を勉強。在学中に沖繩県の芭蕉紙に

足助の魅力が伝えられる委員に

興味を持ち、更に沖繩県立芸術大学で院生として2年間紙漉を学んだ。沖繩での生活では、

人々が伝統文化を引き継ぎ、土地に根付いた暮らしをしていることを知った。それがきっかけで、ふるさと足助への思いが募り、足助特有の手仕事に興味をわき、足助へUターンした。

帰郷後は三州足助屋敷に就職。仕事は事務から接客まで多岐に渡った。そんな中で、年長者の職員が足助の昔の生活や文化について来場者に語ったとき、自分は足助に生まれたのに足助について何も知らないことに気づいた。また、自分の周りを改めて見つめ直し、自分の幼少時と風景が変わっていることにも気づいた。荒れている畑、伸び放

題の竹林。「幼いときに目にした自分の風景を取り戻したい」という思いに、「時間の使い方を考え直したい」という思いも重なり、足助屋敷を退職した。今は本業でパート社員として働

ている。5月20日、地区のわくわく事業公開審査会に地域会議委員として初めて出席。11団体のプレゼンを聞き、多くの人が地元について考えていることを知った。プレゼンでは書類だけでは分からない個々の思いが伝わってきた。同時に、補助金対象者を支援し審査しなくてはならない立場であることの責任の重大さを実感したそうだ。

河合さんは「足助の魅力を目撃を持って伝えられるように、委員としても活性化に取り組みしていきたい」と語ってくれた。【貞島啓子】

かわい・ゆり 1984年生。佐切小学校卒業。父母・祖父の4人暮らし。わくわく事業「あすけ聞き書き隊」のメンバーとして、足助の歴史や慣習などを年長者に聞き、記録に残す活動も行っている。畑仕事とバイクが趣味。



4月5日に77名の生徒が足助中学に入学しました。読者の皆さんは入学式、卒業式の思い出はありますか？



足助中学校の今と昔

中学校は、今年で統合42周年になります。豊田市立となりましたが、市内で一番広い校区を有する学校です。中庭「風の庭」には、地域の木々が木陰をつくり、トイレはちょっとしたホテル並みで快適です。生徒会の伝統となっているASK運動は、今も脈々と続いています。電子黒板8台を導入し、ICTの推進校として実践を積み重ねているほか、2年生の5日間の職場体験活動「あすけチャレンジWEEK」も特色のひとつです。

足助中学校 校長 藤島 力央



足助の夏のお祭り

足助夏祭り

たんころりんの夕涼み(表紙写真) 8月4日(土)～15日(水)
 万灯祭り 足助川遊歩道 8月13日(月) 14日(火) 18:00～
 花火大会 足助グラウンド 8月14日(火) 20:30～

冷田自治区(冷田コミュニティ夏まつり)
 冷田小学校 8月11日(土) 18:00～
 盆踊り・バザー・花火など

大蔵自治区(大蔵サマーフェスティバル)
 足助農山村広場 8月4日(土) 19:00～
 盆踊り・花火大会など

新盛自治区 新盛のタベ2012
 新盛小学校 8月11日(土) 18:00～
 盆踊り・バザー・花火など

御蔵自治区(円山のタベ)
 御蔵小学校 8月4日(土) 17:30～
 盆踊り・ビンゴ・福引・花火・金魚すくいなど

綾渡の夜念仏と盆踊り
 平勝寺 8月10日(金)、15日(水)
 夜念仏と盆踊り

萩野自治区(萩野夏祭り)
 萩野小学校 8月4日(土) 19:00～
 盆踊り、バーベキュー

則定自治区(則定自治区盆踊り大会)
 則定小学校 8月4日(土) 19:00～
 盆踊り・バザー・抽選会

大河原自治区(大河原夏祭り)
 大河原資料館 8月13日(月) 19:00頃～
 内容は検討中!!

明和自治区(赤田和のタベ)
 明和小学校 8月12日(日) 18:00～
 盆踊り、バザー、花火

佐切自治区(佐切自治区夏祭り)
 佐切小学校 8月11日(土) 17:30頃～
 盆踊り、バザー、小学生以下のゲーム



－編集後記－

あすけ通信創刊号はいかがでしたでしょうか？みなさんの意見をどんどん取り入れ長く愛されるあすけ通信に育ててまいります。ふるさと足助をギュッとこの通信に詰めちゃいますので、末長〜とお付き合いくださいませようよろしくお願いいたします。あすけ通信の郵送などの依頼、お問合せはあすけ通信事務局までよろしくお願いたします！！

このあすけ通信は、足助で生まれ育ち、今、足助の外で勉強や仕事に励んでいる若者が地域とつながることを願っています。ふるさとって、ずっといると鬱陶しく思えたりしますが、離れてみるとふるさとの良さに気づくことがありますよね。このあすけ通信が「ふるさとの良さ」に気づききっかけになって、年に1回でも足助の様子を見に来て、お父さんやお母さん、地元の友達と会う機会が生まれれば…そう、願っています。

あすけ通信/vol.1

あすけ通信メルマガ版

※受信及びメールマガジン掲載のHPへのアクセスには別途通信料が必要となります。

※無料メールマガジンのため、オフィシャルマガジンが配信されることがあります。

ご不要の方は解除QRコードにアクセスして解除してください。



☆Blog、Twitterもあるよ!!☆

